

令和7年度 長井市社会福祉協議会 事業報告

長井市社会福祉協議会では、長井市の第4期地域福祉計画と連携し、令和7年度から“ささえあう 心をつなぐ ふくしのまち ながい”を基本理念に5カ年の「第4期地域福祉活動計画」をスタートいたしました。地域の住民の皆さまと共に、長井市及び関係団体、民間企業の皆さまと連携しながら取組みを進め、多様なつながりを生み出すことを通じて「地域共生社会」の実現のための事業を実施してまいりました。

このような状況の中、「1. 生活困窮者自立支援事業の推進」、「2. ボランティア人材の育成」、「3. ボランティアコーディネート促進」を、令和7年度の重点事業の三本の柱に据え、業務執行にあたってまいりました。

「1. 生活困窮者自立支援事業の推進」では、様々な理由で生活に困窮された方々の生活支援や、特例貸付（新型コロナウイルス感染症に対応した貸付）のフォローアップ、フードバンク活動など、必要な相談・支援にあたりました。年間の延べ相談件数は、1,009件と令和6年度比で18パーセント減となりこれまでの取組みの成果が現れたものと考えています。

「2. ボランティア人材の育成」では、広報やホームページによる情報発信や、これまで開催していた「ふれあい福祉まつり」を「みんなの♡ながいボランティアフェスタ」と改め、ひきこもりや不登校に関する研修会やボランティア講師による活動披露会を実施し、理解を深めることができました。また、企業への働きかけを行い、一部の企業と連携に向けた協議を進めました。

「3. ボランティアコーディネート促進」では、ボランティア登録状況として前年から2団体・個人が増え67団体に、ボランティアコーディネートは107件、208人にのぼり、ミニデイでの歌や踊りの披露など多方面でボランティアを繋ぐことができ、重点事業としての成果が上がったものと考えています。

当協議会のこの他の重要事業として、「介護事業」については、居宅介護支援事業（年間延べ利用件数895件）について、諸般の事業により令和7年度末で休止せざるを得ない状況となった一方で、訪問介護事業（年間延べ派遣回数6,221回）等に取り組み、利用者一人ひとりのニーズに応じた身体介護、家事援助等を提供するとともに、安心して利用いただける質の高いサービスの提供と信頼される事業運営に努めました。

「せせらぎの家の経営」については、契約者数に変化はないものの、利用者の高齢化等から平均利用者数の減少傾向が続いています。一方、平均工賃月額が、前年度比1,869円増の20,694円に上昇するなど、個別支援計画に基づき利用者一人ひとりに合ったサービスを提供し、安定した収入確保と目標工賃の支給が可能となるよう、経営の改善と安定に向けた取組みを進めてまいりました。

「保育・子育て支援事業」では、直営であるはなぞの保育園で、少子化の影響による利用児童の減少に伴い、定員120名を令和7年度から100名に変更し対応しました。そのほか、5つの児童センターと4つの学童クラブの指定管理者及び受託者として、市と連携しながら、こどもたちの心身の成長や、社会生活を営むための規律・礼儀が身につけられるよう運営を行いました。また、市の受託事業として運営する病児保育施設「みつばちルーム」については、年間延べ利用者が218名にのぼり、子育て世帯のセーフティネットとして重要な役割を果たしています。

長井市社会福祉協議会では、今後も「第4期地域福祉活動計画」に基づき、市民の皆様、長井市並びに関係団体の皆様と連携し、地域福祉の推進を図ってまいります。

地域福祉活動計画に関する事業

基本目標1 誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり

1-1地域ぐるみの防災体制の充実

1-1(1)災害ボランティアセンター、災害ボランティア活動

1-1(1)①災害ボランティアセンター、災害ボランティア活動

大規模災害時に迅速に対応するため災害ボランティアセンター設置運営マニュアルに基づき、長井市、関係機関と連携を図りながら災害ボランティアセンター設置運営体制の整備を行いました。

区分	R7計画	R7実績
災害ボランティアセンター連絡会開催回数	1回/年	1回/年
災害ボランティアセンター設置運営訓練開催回数	1回/年	1回/年

・災害ボランティアセンター連絡会

実施日	場所	内容	参加人数
7月1日	老人福祉センター	災害ボランティアセンター設置運営方法の共有、課題への対応検討ほか	13人

・災害ボランティアセンター設置運営訓練(市総合防災訓練時)

実施日	場所	内容	参加人数
10月26日	致芳小学校	災害ボランティアセンター設置運営訓練	22人

1-2 相談・支援体制と情報発信の充実

1-2(1)総合相談事業

1-2(1)①総合相談事業

老人福祉センターを拠点とし、社協での総合相談(身近な相談、生活困窮相談など)を総合的に受け付け、必要に応じ専門相談までのつなぎを行いました。市民の方がより利用しやすい相談体制づくりを行いました。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ①老人福祉センターでの職員による相談受付(常時) | ④心配ごと相談日(毎月最終木曜日) |
| ②専門相談の充実(弁護士相談) | ⑤民生委員との連携・ニーズ把握 |
| ③相談員研修会の開催(年1回) | |

区分	R7計画	R7実績
②専門相談(弁護士相談)実施	1回/年	1回/年
③相談員研修会の開催(年1回)	1回/年	1回/年

1-3各種福祉関係施策の充実

1-3(1)障がいのある方の交流の場の支援、障がいに対する理解促進活動

1-3(1)①障がいのある方の交流の場の支援

ボランティア・関係機関と連携し、障がいのある方の交流活動を支援しました。

区分	R7計画	R7実績
研修会・座談会実施回数	1回/年	1回/年

・長井市身体障害者福祉協会「まとまるというごどあるカフェ」

実施日	研修場所	内容	参加人数
10月18日	長井市老人福祉センター	大正琴とリフレッシュ	23人

1-3(1)②福祉講座・福祉学習・バリアフリーの理解促進

福祉・ボランティア、バリアフリーなどの理解促進、活動のきっかけづくりとして地域・団体の集まりなどに社協職員を派遣し福祉講座・福祉学習を行いました。当事者の方に講師を依頼するなどプログラムの改善に努めました。

区分	R7計画	R7実績
講座実施件数・参加人数	10件・150人	10件・192人

・講座実施状況

(敬称略)

実施日	依頼先	内容	参加人数
4月18日	長井市更生保護女性会	福祉講座(地域福祉・ボランティア)	24人
5月3日	旧長井小学校第一校舎	福祉体験ブース(点字体験)	18人
7月23日	長井市中央コミュニティセンター	福祉体験教室(点字体験)	31人
10月8日	放課後子ども西根教室	福祉体験教室(点字体験)	10人
2月21日	放課後子ども西根教室	福祉体験教室(視覚障がい体験)	7人
2月22日	長井市ジュニアリーダー	福祉体験教室(ボッチャ体験)	18人
2月24日	長井北中学校	福祉体験教室(高齢者疑似体験)	24人
2月26日	長井北中学校	福祉体験教室(高齢者疑似体験)	18人
2月27日	長井北中学校	福祉体験教室(高齢者疑似体験)	28人
3月5日	長井ライオンズクラブ	福祉講座(災害ボランティア講座)	14人
計			192人

1-3(2)生活困窮者相談支援

1-3(2)①生活困窮者自立支援事業(重点)(市からの受託事業)

生活困窮者の自立を目的に、関係機関との連携を強化し個別的かつ継続的に必要な情報の提供や助言、各種資金の貸付やフードバンクの活用などを通じて、相談者に寄り添った支援を行いました。

区分	R7計画	R7実績
新規相談件数	50件/年	37件/年
延べ相談件数	1,300件/年	1,009件/年
支援継続ケース	24件	28件

区分	R7実績
訪問件数	97件
同行件数	14件

1-3(2)②生活福祉資金貸付事業(県社会福祉協議会からの受託事業)

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯の生活安定や在宅福祉及び社会参加の促進を図るために、生活福祉資金の貸付制度の活用について民生委員児童委員の協力を得ながら、申請受付及び相談援助を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮された方を対象とした生活福祉資金特例貸付について、借受世帯に対し償還猶予や償還免除申請手続きを含めた相談支援(生活福祉資金貸付フォローアップ支援員設置事業)を行いました。

区分	R7計画	R7実績
生活福祉資金貸付件数	7件/年	4件/年
生活福祉資金貸付金額	6,000千円/年	1,968千円/年

・生活福祉資金利用状況

資金種類	貸付件数	貸付金額
福祉資金	4件	1,968,000円
計	4件	1,968,000円

・生活福祉資金特例貸付利用状況(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置)

貸付件数	内返済完了	内償還免除	内償還猶予中	内償還中
152件	28件	82件	4件	38件

1-3(2)③たすけあい資金貸付事業

低所得世帯の生活つなぎ資金として5万円を限度として無利子の貸付を行うとともに、支援が必要な世帯については継続的な相談支援を行いました。

区分	R7計画	R7実績
たすけあい資金貸付件数	25件/年	11件/年
たすけあい資金貸付金額	1,250千円/年	500千円/年

・たすけあい資金利用状況

R7年度 貸付件数	R7年度 貸付金額	R7年度 償還金額	R8年3月末 貸付件数	R8年3月末 貸付金額
11件	500,000円	488,000円	51件	1,726,000円

1-3(2)④フードバンク活動の実施

フードバンクについて周知を図り、ご協力いただいた寄附食料を生活困窮者相談窓口を通じて、支援が必要な世帯へ提供し活用しました。

区分	R7計画	R7実績
フードバンク提供件数	500件/年	449件/年

・寄附受付状況

R7年度 寄附件数	R7年度 寄附総重量	R6年度 繰越分
407件	1747.1kg	964.9kg(外数)

・食材提供状況

R7年度 提供件数	R7年度 提供総重量
449件	1712.1kg

1-4セーフティネットの機能強化

1-4(1)福祉サービス利用援助事業

1-4(1)①福祉サービス利用援助事業(県社会福祉協議会からの受託事業)

認知症などの高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方などに対して、福祉サービスの相談援助や日常的な金銭管理などの援助を行い、地域で安心した生活が営めるよう支援しました。

区分	R7計画	R7実績
援助継続件数	30件	28件

区分	R7実績
契約締結件数	4件
延べ相談件数	791件

基本目標2 誰もが生きがいの持てるまちづくり

2-1子どもが健やかに成長できるまちづくり

2-1(1)地域の子育て活動の支援

2-1(1)①子ども食堂の立上げ、運営支援(重層的支援体制整備事業(新規)市からの受託事業)

子ども食堂などの地域での子育て支援活動の立上げや継続にむけ、関係機関とのつなぎや情報提供、専門的アドバイスを行うとともに、社協においても親子の居場所を運営し、支援が必要な方とのつながりづくりや食料支援などを行いました。

区分	R7計画	R7実績
子ども食堂(虹のひろば(社協実施)) 実施回数	12回/年	12回/年

・子ども食堂(虹のひろば(社協実施))

実施日	場所	内容	実施回数	参加人数
4月～3月	老人福祉センター	食材配布と希望者を対象とした交流	12回	100人

2-2こころと体の健康づくり

2-2(1)①長井市老人福祉センター設置経営

地域高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーション及び各種相談に対応する総合的な高齢者福祉の拠点施設として施設をご利用いただきました。

区分	R7計画	R7実績
延べ利用人数	5,000人	4,788人

・老人福祉センター利用状況

利用区分	延べ利用人数	延べ利用回数
高齢者（老人クラブ）	279人	20回
高齢者（ふれあいサロン）	1,963人	135回
高齢者（その他個人利用者）	6人	3回
高齢者（趣味サークル）	101人	9回
障がい児・者（身障協、手をつなぐ育成会など）	303人	31回
子ども・子育て（児童センター他）	261人	32回
ボランティア団体	98人	19回
NPO団体	59人	5回
その他福祉団体（民協、更生保護女性会他）	574人	44回
地域団体	51人	3回
民間業者（補聴器業者）	145人	10回
社協会議・事業	948人	75回
計	4,788人	386回

基本目標3 地域の活力あるまちづくり

3-1地域活動の担い手の確保と育成

3-1(1)広報・啓発活動

3-1(1)①社協だよりの発行

社協だよりを年4回定期的に発行し、市内全世帯に配布しました。社協活動の理解と地域福祉・ボランティアの啓発に努めるとともに、事業周知・参加拡大に努めました。

区分	R7計画	R7実績
広報発行回数(全戸配布)	4回/年	4回/年

・発行状況

4月15日	社会福祉協議会だより	全戸配布	各種事業のお知らせ・地域福祉活動計画紹介
7月15日	社会福祉協議会だより	全戸配布	社協事業報告・計画、各種事業のお知らせ
10月15日	社会福祉協議会だより	全戸配布	赤い羽根共同募金・各種事業のお知らせ
12月15日	社会福祉協議会だより	全戸配布	各種事業のお知らせ

3-1(1)②ホームページなどの運営

社協ホームページを随時更新し、社協活動の周知及び福祉、ボランティア、相談支援などの情報提供を行い、福祉活動の啓発、参加促進を図りました。スマートフォン対応などを目的としたホームページリニューアル(R8年4月更新)に向け、必要な準備を進めました。

区分	R7計画	R7実績
ホームページ記事投稿件数	30件/年	30件/年

3-1(2) 支えあい活動の支援

3-1(2)① ボランティア団体活動支援(集まりの場支援)

構成員が5人以上の地域団体(ボランティア団体)などを対象に、地域での交流の場づくり、ささえあいの活動を支援していくため、助成金制度と活動支援を実施しました。

- ・活動費補助金 1団体 活動費上限 40,000円/年
- ・備品購入費 支出合計額の3/4(20,000円上限)

区分	R7計画	R7実績	補助額計
補助実施件数	10件	10件	350,000円

・助成実施状況

団体名	実施地区	内容
新町サロン	中央地区新町	地域高齢者の集まりの会
「なな福」会	西根地区上郷	地域高齢者の集まりの会
ハッする!ちほう	致芳地区	100歳体操を中心とした高齢者の集まりの会
森の太陽の会	致芳地区森	100歳体操を中心とした高齢者の集まりの会
上の台すこやかクラブ	伊佐沢地区上の台	地域高齢者の集まりの会
館久保百歳体操の会	伊佐沢地区館久保	100歳体操を中心とした高齢者の集まりの会
折り紙の会	平野地区	地域高齢者の集まりの会
集まって楽しく歌う会	平野地区石塚・谷地寺	地域高齢者の集まりの会
とよだ百歳体操クラブ	豊田地区	100歳体操を中心とした高齢者の集まりの会
和泉お茶っ会	豊田地区泉	地域高齢者の集まりの会

3-1(3) ボランティア活動の普及促進

3-1(3)① 福祉・ボランティアイベントの開催(ボランティアフェスタ)

ボランティア講座やボランティアを体験する機会の提供などを含めたイベントとして、「みんなの♡ながいボランティアフェスタ」を開催し、ひきこもり・不登校に関する研修会やボランティア体験作文表彰、ボランティア講師による活動披露を通じて、福祉・ボランティア活動への理解促進やボランティア活動者の拡大に努めました。

区分	R7計画	R7実績
実施回数・参加人数	1回/年・250人	1回/年・125人

実施日	場所	内容	参加人数
11月8日	生涯学習プラザ	ひきこもり・不登校に関する研修会	29人
		ボランティア体験作文表彰式・発表会	39人
		ボランティア講師のみなさんによる活動披露会	57人
計			125人

3-1(3)② ボランティア人材の育成(重点)

ボランティアへの関心を高めるとともに、活動へのきっかけづくりや実践者の育成を図るため、学生・社会人を対象とした各種ボランティア講座などを実施しました。

区分	R7計画	R7実績
ボランティア研修実施回数・参加人数	1回/年・40人	1回/年・29人
小中高生ボランティアスクール実施回数・延べ参加人数	3回/年・30人	2回/年・16人
ボランティア体験作文実施回数・表彰式参加人数	1回/年・40人	1回/年・39人

・ボランティア研修

3-1(3)①福祉・ボランティアイベントの開催(ボランティアフェスタ)に掲載

・小中高生ボランティアスクール

実施日	場所	内容	参加人数
8月8日	市民文化会館・老人福祉センター	高齢者サロン交流・うちわプレゼントボランティア	10人
3月24日	老人福祉センター	児童への読み聞かせ・交流ボランティア	6人
計			16人

・ボランティア体験作文の募集・表彰

3-1(3)①福祉・ボランティアイベントの開催(ボランティアフェスタ)に掲載

3-1(4) ボランティア活動者・団体への活動支援

3-1(4)① ボランティアコーディネートの促進(重点)(重層的支援体制整備事業(新規)市からの受託事業)

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア登録派遣制度によるボランティア登録の推進やボランティア活動のコーディネートを行いました。切手仕分けボランティア活動など身近に参加しやすいボランティア活動の場の提供を行いました。

区分	R7計画	R7実績
ボランティア登録数	65団体・個人	67団体・個人
ボランティアコーディネート数	150件/年	107件/年

・各種ボランティアコーディネート実施状況 (敬称略)

活動団体	活動内容	コーディネート先	活動件数	活動人数
ボランティア講師登録者	歌・踊りなどの特技披露	市内ミニデイなど	25件	44人
朗読奉仕団つゆくさの会	市報朗読音源配布	視覚障がいのある方	49件	60人
株式会社山市	施設の草刈り・環境美化	社協施設	5件	31人
市内登録企業・個人ボランティア	除雪ボランティア	高齢者世帯など	4件	25人
個人ボランティア	切手仕分けボランティア	途上国支援団体	24件	48人
計			107件	208人

3-1(4)② ボランティア活動団体支援(ボランティア団体支援)

ボランティア活動を行う団体に対し、活動の促進を目的に補助金制度と活動支援を実施しました。

- ・活動費補助金 1団体 活動費上限 40,000円/年
- ・備品購入費 支出合計額の3/4(20,000円上限)

区分	R7計画	R7実績	補助額計
補助実施件数	6件	6件	220,000円

・助成実施状況

団体名	内容
朗読奉仕団つゆくさの会	視覚障がいのある方への市報朗読録音ボランティア
しっからの会	地域のボランティア活動
あずまーる「キッズ」	こども食堂・地域食堂
ふれあい食堂もぐもぐの会	こども食堂・地域食堂
かむかむ地域食堂	こども食堂・地域食堂
ひまわりの会	こども食堂・地域食堂

3-1(4)③ ボランティア団体の連携支援(新規)

こども食堂や災害ボランティアなど必要に応じた分野ごとの連携支援を図りました。こども食堂実施団体相互の情報交換、連携などを目的とした「こども食堂・地域食堂ネットワークながい」を立上げ、活動の側面的支援を行いました。

- ・「こども食堂・地域食堂ネットワークながい」

実施日	事業名	内容	参加
9月19日	こども食堂・地域食堂ネットワークながい	ネットワークの立上げ、活動内容の検討	5団体・9人
2月6日	こども食堂・地域食堂ネットワークながい	団体の活動共有、情報交換	6団体・10人

3-1(4)④ ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター運営委員会を設置し、委員からボランティアセンターの運営についての意見、助言などをいただき、ボランティアセンターの活動促進を図りました。

区分	R7計画	R7実績
運営委員会の開催	2回/年	2回/年

実施日	事業名	内容	参加人数
7月4日	ボランティアセンター運営委員会	地域福祉活動計画、R7年度事業への意見、助言	7人
2月24日	ボランティアセンター運営委員会	令和7年度事業報告、次年度事業への助言	7人

3-2地域における福祉活動の充実

3-2(1)福祉活動拠点への支援

3-2(1)①福祉活動拠点への支援

各地区の地域福祉拠点の活動や新たな地域福祉活動の立上げ、運営に対し、福祉サービスや活用できるメニューの情報提供、活動支援を行いました。

地域福祉活動計画以外の事業

4-1 介護事業

4-1(1)居宅介護支援事業

居宅介護支援事業については、人員体制の確保が困難な状況を踏まえ、令和7年度末をもって居宅介護支援事業所を休止する判断としました。利用者の皆様の支援の継続性に配慮し、関係機関と連携のもと、必要な引継ぎ及び調整を行い、対応を完了しております。

区分	R7計画	R7実績
介護支援専門員	3人	3人(R7.10～2人)
居宅介護支援利用件数	90件/月	66件/月
介護予防居宅介護支援利用件数	13件/月	9件/月

4-1(2)訪問介護事業

要介護者などの心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう個人のニーズに合わせて身体介護、家事援助などの提供を行い、サービスの充実、信頼される事業の推進に努めました。令和6年4月から白鷹町社会福祉協議会訪問介護事業に係る利用者・職員の受け入れを開始し、令和7年度についても継続して対応いたしました。感染症などへの感染予防対策を行い事業を実施しました。

区分	R7計画	R7実績	
常勤訪問介護員	2人	2人	
登録訪問介護員	8人	8人	年間延べ派遣回数
訪問介護利用件数	43件/月	33件/月	4,333回/年
介護予防・日常生活支援総合事業 利用件数	21件/月	23件/月	1,888回/年

4-1(3)障害者等居宅介護事業

障がいのある方の心身の状況に応じて自立した生活が営めるよう、身体の介護及び家事の援助など、日常生活の支援を行いました。令和6年4月から白鷹町社会福祉協議会障害者等居宅介護事業に係る利用者・職員の受け入れを開始し、令和7年度についても継続して対応いたしました。感染症などへの感染予防対策を行い事業を実施しました。

区分	R7計画	R7実績	年間延べ派遣回数
障害者等居宅介護利用者数	20件/月	20件/月	1,579回/年

4-1(4)介護保険・障害者総合支援以外の介護事業

要介護者などで日常生活を送る上で支障のある高齢者などに対し、介護保険適用外の家事援助などのサービス提供を行いました。

・介護保険適用外日常生活援助事業

年間延べ派遣回数
1回

4-2障がい福祉サービス事業

4-2(1) 障がい福祉サービス事業所せせらぎの家の設置経営

利用者の人間性を重んじ、明るく安心して利用できるよう施設の健全な環境づくりに努め、就労継続支援B型事業所として障がいのある方の自立と社会参加を促進するため、個別支援計画に基づき、利用者一人ひとりに適切な支援を提供できるよう努めました。また、個々の身体状況の変化に応じ、利用者の抱える課題と希望する生活を把握しながら、他福祉サービスの活用などにより地域生活全般の向上が図れるよう、関係機関との連携を行いました。

就労事業の取り組みとして、目標工賃達成指導員を中心として安定した収入の確保と工賃支給ができるよう、官公庁並びに事業所からの継続した受注に繋げていける取り組みを進めております。

施設の運営においては、現状を把握し、事業、職員体制の見直し、経費削減、経営改善を図るために継続して取り組みを進めております。

区分	R7計画	R7実績
利用者在籍数	46人	46人

・事業実施状況

(R8.3月末現在)

利用定員	1日の平均利用者数	開所日数
40人	36.4人	239日

4-3保育・子育て支援事業

4-3(1)①はなぞの保育園の設置経営

0歳児(生後4か月)から5歳児までを対象として乳幼児の保育を実施しました。園児の健康管理に配慮しながら、心身ともに健やかに育つように安心して過ごせる環境づくりに努めました。また、友だちとのかかわりも大切にし、思いやりや協調性が養われるよう取り組みました。感染予防対策を行い事業を実施しました。

・入所定員 100名 ・受入年齢 4か月～5歳児

区分	R7計画	R7実績
月平均利用者数	94人	92人

・開園日数 290日

・在籍園児数(R8.3月末現在)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
9人	12人	21人	17人	21人	14人	94人

4-3(1)②病児保育施設「みつばちルーム」の運営

市からの受託事業として、はなぞの保育園2階病児保育施設みつばちルームにおいて、0歳児(生後6か月)から小学3年生を対象とし、罹患した子どもの受け入れを行い、保育を行いました。子育て世代のニーズに柔軟に対応し、保護者が安心して罹患した子どもを預けることができる施設づくりに努めました。

区分	R7計画	R7実績
延べ利用者数	229人/年	218人/年

・利用状況(R8.3月末現在)

利用定員	登録者数	開所日数
1日3人	318人	234日

4-3(2)長井市致芳児童センターの経営

指定管理者として児童福祉の理念に基づき健全な児童福祉の向上に努めると共に、保護者や地域との連携を密にし、多様化する保育ニーズに対応できる施設づくりに努めました。感染予防対策を行い事業を実施しました。

・受入年齢 2歳～5歳児

区分	R7計画	R7実績
月平均利用者数	29人	28人

長井市致芳児童センター

・開園日数 260日

・在籍園児数(R8.3月末現在)

2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
5人	1人	8人	14人	28人

4-3(3)長井市致芳学童クラブの管理運営

市からの受託事業として、下校後の時間において異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや優しさ、規律、礼儀が身につくよう取り組みました。感染予防対策を行い事業を実施しました。

・対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R7実績
月平均利用者数	35人	30人

長井市致芳学童クラブ

・開園日数 258日

・在籍児童数(R8.3月末現在)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
6人	11人	6人	5人	1人	0人	29人

4-3(4)長井市伊佐沢児童センターの経営

・受入年齢 2歳～5歳児

区分	R7計画	R7実績
月平均利用者数	9人	10人

長井市伊佐沢児童センター

・開園日数 261日

・在籍園児数(R8.3月末現在)

2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1人	3人	1人	5人	10人

4-3(5)長井市豊田児童センター・長井市豊田学童クラブの経営

・長井市豊田児童センター 受入年齢 2歳～5歳児

・長井市豊田学童クラブ 対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R7実績
児童センター 月平均利用者数	32人	32人
学童クラブ 月平均利用者数	59人	59人

長井市豊田児童センター

・開園日数 262日

・在籍園児数(R8.3月末現在)

2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2人	9人	7人	14人	32人

長井市豊田学童クラブ

・開園日数 264日

・在籍児童数(R8.3月末現在)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
16人	19人	14人	3人	4人	3人	59人

4-3(6)長井市平野児童センター・長井市平野学童クラブの経営

・長井市平野児童センター 受入年齢 2歳～5歳児

・長井市平野学童クラブ 対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R7実績
児童センター 月平均利用者数	25人	26人
学童クラブ 月平均利用者数	55人	54人

長井市平野児童センター

・開園日数 262日

・在籍園児数(R8.3月末現在)

2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
3人	8人	5人	10人	26人

長井市平野学童クラブ

・開園日数 263日

・在籍児童数(R8.3月末現在)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
15人	21人	9人	4人	2人	0人	51人

4-3(7)長井市中央児童センター・長井市中央学童クラブの管理運営

市からの受託事業として、小学生を対象とした学童クラブと自由来館型の児童センターの運営を行いました。学童クラブにおいては、中央児童センターと長井小学校の2か所で実施し、異学年との集団生活の中で、社会生活に必要な規律や礼儀を身につけながら、思いやりや協調性が養われるように努めました。感染症などへの感染予防対策を行い事業を実施しました。

・対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R7実績
北学童クラブ 月平均利用者数	100人	94人
南学童クラブ 月平均利用者数	72人	71人

長井市中央児童センター

・自由来館利用人数 10人

長井市中央学童クラブ

・開園日数 265日

・在籍児童数(R8.3月末現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
北学童クラブ(長井小学校)	43人	20人	9人	15人	0人	0人	87人
南学童クラブ(中央児童センター)	19人	20人	16人	9人	5人	0人	69人

4-4 受託事業

4-4(1)避難者生活相談支援事業

県社会福祉協議会からの受託事業として、東日本大震災により市内に避難されている世帯を対象に、生活支援相談員を配置し、訪問・相談活動や交流会を開催しました。活動を通して地域社会での孤立防止やニーズ把握を行いました。

区分	R7計画	R7実績
相談員人数	1人	1人
定期訪問回数	4回/年	4回/年
交流会回数	3回/年	1回/年

・延べ訪問件数 56件

・交流会実施状況

実施日	内容	参加人数
8月5日	ポーセラーツで自分の食器を作ってみませんか	5人

4-4(2)家族介護教室

市からの受託事業として、在宅において介護をされている家族の方及び介護に関心のある方が、心身のリフレッシュと情報交換及び情報収集を行える場として、交流会を実施しました。

区分	R7計画	R7実績
開催回数	12回/年	12回/年

・事業実施状況 参加人数延べ 109人

実施日	内容	参加人数
4月22日	わかりやすい介護保険制度	16人
5月22日	認知症を知ろう	8人
6月24日	ラフターヨガ	8人
7月22日	聞こえの低下と介護予防	10人
8月26日	口腔衛生講話	5人
9月25日	お薬についてのお話し	7人
10月23日	感染症について	6人
11月18日	終活シリーズ「相続について」	11人
12月11日	お正月飾りづくり体験	8人
1月20日	おなかの健康について	10人
2月17日	介護予防講座・予防体操	10人
3月17日	特殊詐欺について	10人
計		109人

4-4(3) ふれあいサロン等送迎事業

市からの受託事業として、ミニデイサービス事業の研修などに対し福祉バスによる送迎を行いました。

区分	R7計画	R7実績
運行回数	520回/年	509回/年
運行距離数	39,000km/年	40,840km/年
利用人数	6,000人/年	5,807人/年

4-4(4) ふれあいサロン事業

市からの受託事業として、在宅高齢者の生きがいと健康づくり活動、介護予防活動を目的に老人福祉センターにおいてふれあいサロンを開催しました。感染症などへの感染予防対策を行い事業を実施しました。

区分	R7計画	R7実績
開催日数	135日/年	135日/年
利用人数	3,375人/年	1,963人/年

平均利用人数
14.5人/回

4-5 自主事業**4-5(1) 社会福祉活動功労者顕彰事業**

多年にわたり社会福祉、ボランティア活動に献身的な努力を続けられ他の模範となる個人・団体などを顕彰するとともに、福祉における各種表彰への推薦を行い、福祉思想の高揚と普及に努めました。

区分	R7計画	R7実績
長井市社会福祉協議会福祉功労者等表彰者数	30団体・個人	32団体・個人

(敬称略)

県知事表彰	村上 弥生
県民福祉大会会長表彰	青木 修次、荒生 興子、青木 和弘、山口 知加 橋本 恵、孫田 恵、酒井 美和、もみじ会 飯豊 大黒舞愛好会、公益社団法人 長井青年会議所
長井市社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰	五十嵐 正五、かなで〜る、クローバーの会 菊地 繁、青木 和弘、荒生 興子、青木 修次 風間 源司、菅野 玲子、平 淳子、佐藤 房子 守谷 啓子、鈴木 しず子、鈴木 好子 吉野 とよ、塩田 きえ、安藤 潔、横山 勲 齋藤 忠三、布施 みさ、佐藤光太郎 多田野清助、北村 純一、新野 憲宏 小笠原フミ、嶋貫 茂子
長井市社会福祉協議会 社会福祉功労者感謝状	株式会社 高橋設備、株式会社 荘内銀行
長井市社会福祉協議会 会長感謝状	高橋 美智子、布施 美代子、上村 正巳 佐藤 仁

4-5(2) 福祉有償運送事業

移動に制約のある方を対象として、会員登録制をとり、福祉有償運送の実施体制を継続しました。

・福祉有償運送利用状況 3件

4-5(3) 物品貸与事業

高齢者や障がいのある方で一時的に車イス、その他の介護用具の利用が必要な方に短期間の貸し出しを行いました。地域福祉に関する啓発活動、ボランティア活動、その他福祉的活動で使用する車イス、その他の介護用具、事務機器などの貸し出しを行いました。

・物品貸与状況 車イス貸与 延べ51回ほか

4-5(4)長井市社会福祉法人連絡会の支援

「地域における公益的な取組」の連携協働にむけて、市内の社会福祉法人9法人参加による「長井市社会福祉法人連絡会」の事務局、幹事会の事務局として、事業企画・実施に協働で取り組みました。

・事業実施状況

実施日	場所	内容	参加人数
8/1～29	老人福祉センター	フードバンク活動(寄附重量333kg)	9法人
12月4日		地域食堂事業	34人

4-5(5)老人クラブ連合会への支援(事務局担当)

事務局を担当し、生きがいづくり活動・健康づくり活動を行い、高齢者同士がともに支え合いながら地域で活き活きと生活できるように連合会活動の支援に努めました。

4-5(6)長井市民生委員児童委員協議会連合会の事務局

事務局として、関係機関との連携を図りながら、民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援に努めました。要援護者の生活状況の把握や関係機関との連携による支援活動が円滑に進められるよう、組織体制の充実を図るとともに、連合会事業等の運営支援を行いました。

4-5(7)長井・飯豊手をつなぐ育成会への支援(事務局担当)

事務局を担当し、知的障がいのある方の在宅支援と積極的な社会参加を促進するために会の活動支援に努めました。

4-5(8)福祉サービスの苦情解決体制の充実

苦情解決窓口の設置、責任者及び担当者の配置、苦情解決委員会の開催など、苦情解決体制を整備し、各施設のおたより及び施設内への掲示により利用者及びその家族への周知を行い、苦情及び要望に対応する体制づくりに努めました。

4-5(9)共同募金に関する事業(赤い羽根共同募金運動)

次のとおり市民の皆様のあたたかい善意をいただきました。

・一般募金(赤い羽根共同募金)

募金別	令和6年度	令和7年度	備考
戸別募金	3,292,403円	3,254,360円	6,884件
法人募金	1,034,000円	1,022,000円	202件
職場・その他募金	72,811円	92,878円	
計	4,399,214円	4,369,238円	

・令和7年度共同募金事業として、令和6年度募金額を次のとおり配分しました。

配分項目	配分金	備考
山形県共同募金会へ	1,833,000円	県内福祉団体・施設へ
福祉団体援助活動費	200,000円	市内障がい福祉団体へ
社会参加交流事業	37,047円	市内高齢者と児童との交流事業、こども食堂へ
福祉育成援助事業	1,554,280円	市内福祉功労者顕彰事業、広報誌発行等啓発事業、研修・調査活動事業、福祉講座事業などへ
ボランティア活動育成事業	774,887円	市内ボランティア団体活動支援事業、ボランティア人材育成事業、災害ボランティア事業、ボランティアの広報啓発事業などへ

4-5(10)共同募金に関する事業(歳末たすけあい運動)

次のとおり市民の皆様のあたたかい善意をいただきました。

・歳末たすけあい募金

募金別	令和6年度	令和7年度	備考
戸別募金	2,822,910円	2,782,005円	6,898件
篤志募金	50,000円	50,000円	1件
計	2,872,910円	2,832,005円	

・長井市共同募金審査委員会を開催し、次のとおり配分しました。

配分項目	配分金	備考
在宅配分	2,164,000円	186世帯(世帯2人まで10,000円、2人を超える1人につき1,500円加算)
災害見舞金	20,000円	被災者への見舞金 2件
在宅福祉事業	86,586円	給食サービス事業 3地区
地域福祉配分金	81,419円	令和8年度地域福祉事業への配分
事務費	80,000円	
その他	400,000円	市内福祉施設へ8件
計	2,832,005円	

4-5(11)地域福祉活動計画

「ささえあう 心をつなぐ ふくしのまち ながい」を基本理念に、第四期地域福祉活動計画推進期間(令和7年度～令和11年度)の初年度として計画的、体系的に、行政・関係機関と連携しながら事業を推進しました。

4-5(12)西置賜地方福祉連絡会議

西置賜一市三町の社会福祉協議会で構成する連絡会議に参画し、地域福祉・在宅福祉活動の連絡調整と研修会を実施しました。

4-5(13)置賜地方社会福祉協議会連絡会

置賜三市五町の社会福祉協議会活動の連絡調整、共有する課題の解決にむけて役職員の共同研修に参加し地域福祉の推進を図りました。

4-5(14)組織体制の強化

長井市社会福祉協議会の基本理念の下、地域福祉を推進する社会福祉協議会の職員として、資質の向上を図りました。

実施日	場所	内容	参加人数
11月22日	はぎ苑	情報セキュリティ研修 講師: 日本・アルカディア・ネットワーク(株) ITコーディネーター 鈴木 貴道 氏	88人